

## その他の構造物の事例

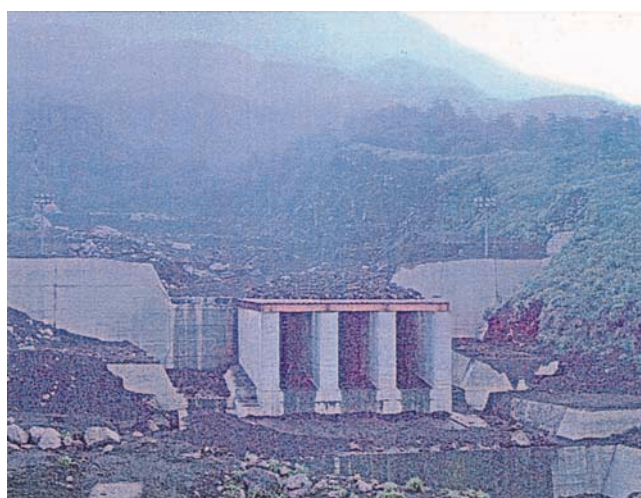
### (1) 底面水抜きスクリーンえん堤

(土石流ブレーカー)

底面水抜きスクリーンえん堤は、土石流の発生が予想される溪流の河床に簀の子状のスクリーンを流心方向に設置し、流下してくる土石流をスクリーン上で土石と水とに分離することで土石流の流速を減速させ、巨礫や土砂を停止、堆積させるものである。土石流減勢工(土石流ブレーカー)とも呼ばれる。また土石流発生域における巨礫の捕捉に用いられる目的のほかに、土石流の直撃を受けるおそれのある下流えん堤の緩衝施設、あるいは扇状地の扇頂部における土石流後続流の分散等にも使用できる。



野尻川 平成2年[大隅工事事務所]



富良野川 平成2年[北海道]

## (2)ワイヤーネット

ワイヤーネット工は、ワイヤーロープを使用して、小さな礫を透過させ巨礫を捕捉する事を目的に、昭和49年長野県焼岳の上々堀沢に試験的に施工された。

線材の長所である引張耐力と変形性能で土石流等の衝撃力を吸収し、捕捉することを特徴とする。

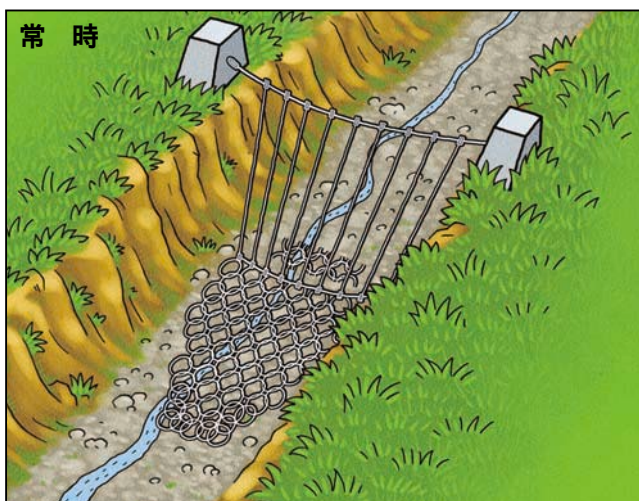
最近はさらに改良を進め、土石流の衝撃力でワイヤーがせん断されないように、リング状のネットで施工される等、研究が進められている。



ロードセル取付



上々堀沢〔松本砂防工事事務所〕



検討されているワイヤーネット(想像図)

